

KEIO MEDIA DESIGN × マドモアゼル・シネマ × ブッシュマン × 笠井瑞丈

ダンサーと観客の生体反応を、舞台美術に。

BOILING MIND 3.0

SCIENCE × ART

IF I SEE YOUR HEART, I'LL DANCE WITH IT



あなたの心がみえたら、私はそれと踊りましょう。

マドモアゼル・シネマ / MADEMOISELLE CINEMA

2023 **4/01 (土) - 02 (日)**

ブッシュマン / BUSHMAN

2023 **4/29 (土) - 30 (日)**

笠井瑞丈 / MITSUTAKE KASAI

2023 **5/27 (土) - 28 (日)**

共同公演 / CO-PERFORMANCE

2023 **6/24 (土) - 25 (日)**

SESSION HOUSE

主催：一般社団法人セッションハウス企画室 共催：慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 マドモアゼル・シネマ ブッシュマン 笠井瑞丈

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】サイエンス&アート

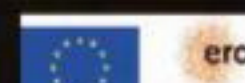


EMBODIED MEDIA



LIVE

Goldsmiths
UNIVERSITY OF LONDON



マドモアゼル・シネマ feat. Keio Media Design

振付：伊藤直子

出演：竹之下たまみ 蓮子奈津美 中島詩織 秋元麻友子
佐藤郁 齊藤奈彩 勝木落子 須川萌

『ココロいただきます』

恋におちたときのように ときめかせたい 私たちの野心
機械はそれを キャッチして くれるだろうか
動けココロ 動けセンサー
踊れ 私たち おちて あなた
人間の 生きる環境が 壊れつつある今
これは 私たちが 未来にとどけたい
切実な願い

PHOTOBY: 山之上雅信

2023年 4月 1日(土) 19:00
2日(日) 13:00
17:00
(日 17:00 は e-plus にてライブ配信)

ブッシュマン feat. Keio Media Design

振付：黒須育海

出演：江口力斗 澁谷智志 手塚パウシュ 中村駿 黒須育海

『シェール 2ROOM』

足音を閉ざして
ひとつ、ふたつ、日を刻む
深く青い灯の中で
ひとつ、ふたつ、砂を吐く
不確かな型の無い模型を
つくり続ける。

2023年 4月 29日(土) 19:00
30日(日) 13:00
17:00
(日 17:00 は e-plus にてライブ配信)

笠井瑞丈 3つのデュオ feat. Keio Media Design

振付：笠井瑞丈

出演：井田亜彩実 白神ももこ Aokid 笠井瑞丈

『不確実性の動きが生む偶然の世界』

世の中の全ての事は偶然から生まれる、
蝶の羽ばたく力で遠くの気象に変化を与えることだってある。
ダンスもまた偶然の連続である。
そしてたった一つの偶然の動きから、
世界を変えてしまう力を持つ事もある。
四人で不確実性の動きが生む偶然の世界を作りたいと思う。

2023年 5月 27日(土) 19:00
28日(日) 13:00
17:00
(日 17:00 は e-plus にてライブ配信)



Photo by: bozzo



Photo by: 大洞博晴



Photo by: Yulia Sko.



Photo by: おおたこうじ

共同公演

マドモアゼル・シネマ × ブッシュマン × 笠井瑞丈 3つのデュオ
feat. Keio Media Design

2023年 6月 24日(土) 19:00
25日(日) 13:00
17:00
(日 17:00 は e-plus にてライブ配信)

『祝祭のはじまり』

研究者とダンサーの協働は、ココロへの興味から始まった。

集めた心拍(データ)で作られた音は雨になり、風になり、鳥になり音楽になった。

ダンサーの心拍(データ)は光になり、小動物の様に動き、目に見えた。

3つのダンスは観客とダンサーの生体データによりリアルタイムで毎回変容を続けた。

最終章、3つのダンサー集団はひとつになって、研究者たちの壮大な実験と共創する。

人々の心身から現れた「ココロ」をいとおしむ祝祭になるべく！

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科



EMBODIED MEDIA



慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科「身体性メディア」プロジェクトは、人々が自身の身体を通して得る様々な経験を、記録・共有・拡張・創造する未来のメディアテクノロジーを創ります。見る、聞く、触れる。人と人、人とモノとのインタラクションにおける身体性を理解し操ることで、楽しさ、驚き、心地よさにつながる新たな身体的経験を生み出します。

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科「Geist(ガイスト)」プロジェクト。Geistとはドイツ語で「こころ」「精神」の意。人間の能力についてよりよく理解し、遊び心を持ちながら人間の能力拡張を目指すためにテクノロジーを使うことを志しています。認知科学、心理学そして社会科学の知見をウェアラブルセンサーや深層学習といったテクノロジーと組み合わせることで、たとえば初めて自転車に乗れた時に感じたような、驚きと好奇心(センス・オブ・ワンダー)を刺激すること。それが目標です。

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

プロジェクトディレクター
須川 萌

テクニカルディレクター
古川 泰地

ウェアラブルセンサーデザイン
George Chenyshov
Dingding Zheng Jamie A Ward

インタラクティブ・ビジュアルデザイン
古川 泰地 黎 暄(Li Xuan)

インタラクティブ・ミュージックデザイン
Danny Hynds

インタラクティブ・衣装デザイン
Hua Ma Yilin Zhang

プロジェクトスーパーバイザー
Kai Kunze 南澤 孝太

リサーチ協力
欧州研究会議助成事業
ニューロライブ
(ロンドン大学Goldsmiths)

セッションハウススタッフ

照明
石関美穂

音響
上田道崇

舞台監督
鍋島峻介

衣裳
原田松野

舞台美術
くに若尾

配信映像
原綾香 川崎陽恵

フライヤーデザイン
古川泰地

プロデューサー
須川 健太郎

総合プロデューサー
伊藤孝



BOILING MIND 3.0



ダンサーと観客の心理が同期する

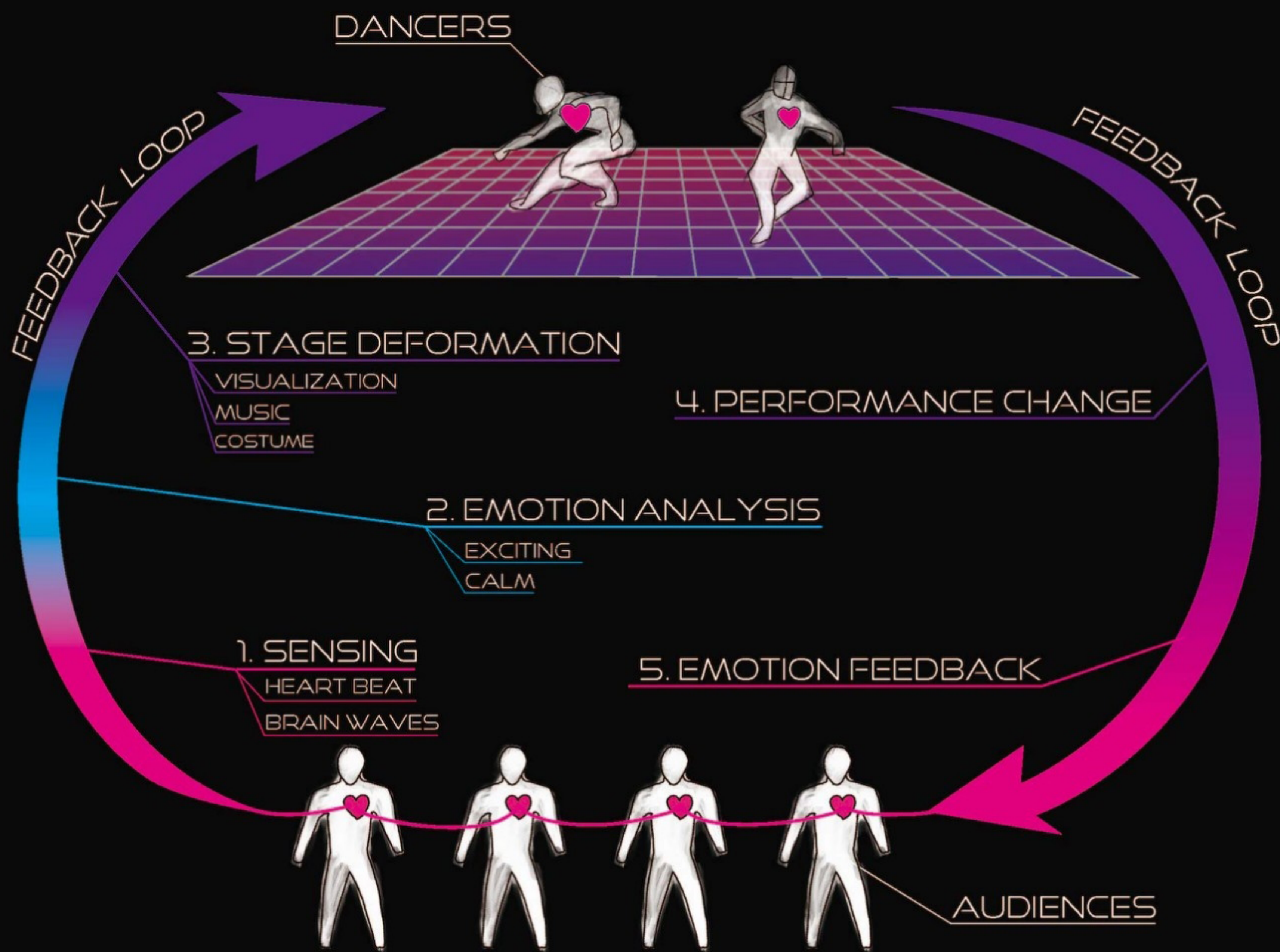
2020年3月、ダンスカンパニー マドモアゼル・シネマ と KMD(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)により、実験的ダンスパフォーマンス”Boiling Mind”が行われました。観客はセンサーを装着し心拍数と発汗データを取得。それを映像や音楽、照明に変換し、舞台上に投影します。観客の感情が緊張状態になると舞台空間は激しく変化し、リラックス状態になると舞台上も落ち着いた雰囲気になります。当初は無表情だった観客の心理があらわになり、それを感じ取ったダンサーの踊りそのものも変化していきます。そうした感情の循環が一期一会の体験を形作り、空間全体の感情が融け合っていく。生体反応を使った、まったく新しい観客参加型没入体験です。

本公演で Boiling Mind はバージョン 3.0 にアップデート。

3つのダンスカンパニーが観客の感情とともに踊ります。

あなたはセンサーを装着することで、舞台の「共犯者」になることでしょう。

4つの公演に渡る共犯関係を、ぜひお楽しみください。



劇場観覧

大人 3,500 円 学生 3,000 円

小～高校生 2,500 円

4公演通し券(先着20名) 10,000 円

オンライン視聴

1,500 円

(すべて税込み)

神楽坂セッションハウス
〒162-0805 東京都新宿区矢来町158

<https://session-house.net>

ご予約: yoyaku@session-house.net

03-3266-0461

